

都市整備

国際観光地「箱根」にふさわしい玄関口の箱根湯本駅周辺の整備について



箱根湯本ターミナル整備事業

Q

1 小田原箱根道路の完成目標年次について

- 2 箱根湯本駅南側広場にバリアフリー対応の公衆トイレの整備について
- 3 駅周辺の今後におけるまちづくりについて
- 4 函嶺洞門のバイパス工事に際しての観光バス駐車場整備について

A 平成20年度に入ってから、供用年度を明示していただけたという情報も得

ているので、情報が入り次第、議会に報告をしたい。2点目について、当面は駅南側広場の地下公衆トイレを改善する考えであるが、公共下水道の整備状況も見極めながら、今後の駅周辺のまちづくりの中で、検討していきたい。

3点目について、町が平成10年度から19年度にかけて継続的に実施した町道湯2号線の道路改良整備との相乗効果を期待した喫緊の課題であるので、箱根湯本ターミナル整備が完成した段階の次のステップとして、交差点改良や箱根観光物産館・消防署湯本分署のあり方など検討していきたい。

4点目について、函嶺洞門付近を「箱根」の第2の玄関として位置付け、整備にあたっては、十分に配慮していきたいと考えており、観光バス駐車場の案も含め、関係機関や県とも調整協議をしていきたい。

政策秘書

観光庁と町の連携について

Q

国・県の動きに対して、当町は直接国・県に赴き、情報収集や連携を深め、国や県の外国人誘致のモデル観光地となるよう努力すべきであり、このような活動を担当するセクションは、政策秘書室が取り組むべきと考えるが。

A

国際競争力の高い魅力ある観光地づくりが求められる中、観光課が主体となつて、HOT21観光プランに基づく施策を展開していくが、政策秘書室との打ち合わせの中で、「国・県の動きを早く掴み、町としてそれをどのように加工して、施策として実施できるのか」を指し、これまでの観光施策を総括し、国内はもとより海外からの観光を呼び込むデジタル・ジャパン・キャンペーンの取り組みを政策秘書室と連携し、強化したいと考えている。

また、本年設置される観光庁では、関係省庁や自治体、民間との連携、調整をしっかりと総合力を発揮することが求められており、新しい仕事をするために、官民から英知を集結するため、広範囲な人事交流を検討しているとの報告もあつたので、国・県とのネットワークをさらに強化するため、併せて観光振興の牽引役となる人材育成を図る観点からも、観光庁への職員派遣について、動いてみたいと考えている。

都市整備

箱根仙石原マンション新築工事について

Q

1 ワンルームマンションの建築内容と建築許可に至る経緯について

- 2 住民説明会の開催状況と住民の考え方、また、町の見解について
- 3 通学路の使用許可の経緯と安全対策について
- 4 仙石原小学校記念樹の桜の伐採と町の許可及びその後の対応について

A 敷地面積1533・79㎡、延床面積984・73㎡の地上4階、高さ12.9m、総戸数39戸のワンルームタイプの共同住宅で、平成19年6月18日に開発事業指導要綱に基づき事前相談書の提出があり、8月31日には事前協議書が提出されているが、現段階では、協議書の締結に至っていない。

2点目について、説明会の実施状況は、自治会・近隣住民に対して2回、小学校・幼児学園は各1回、仙石原地域総合整備協議会で、また、本年設置される観光庁では、関係省庁や自治体、民間との連携、調整をしっかりと総合力を発揮することが求められており、新しい仕事をするために、官民から英知を集結するため、広範囲な人事交流を検討しているとの報告もあつたので、国・県とのネットワークをさらに強化するため、併せて観光振興の牽引役となる人材育成を図る観点からも、観光庁への職員派遣について、動いてみたいと考えている。



多くの外国人観光客が乗降する箱根湯本駅